

	<table border="1"> <tr> <td>学校名</td> <td>天沼中学校</td> </tr> <tr> <td>記録者</td> <td>守 真弓</td> </tr> </table>	学校名	天沼中学校	記録者	守 真弓
学校名	天沼中学校				
記録者	守 真弓				
開催日時	令和6年6月19日(火) 16:30~18:30				
開催場所	天沼中学校 会議室				
出席者(委員)	三石会長、池田校長、生重職務代理、齊郷委員、田中(富)委員、福井委員、茂木委員、田中(孝)委員、守委員、川口委員、馬場委員				
出席者(学校)	黒澤副校長				
傍聴者人数	2(区教育委員会)				
会議内容(次第順)					
<b>【報告事項】</b> (1) 学校の様子(校長) (2) 広報誌と四者研修会等について(企画・PR部会) (3) その他 <input type="checkbox"/>					
<b>【協議事項】</b> (1) 今年度「天中CS調査」の検討 (2) 三校合同CS会議検討 (3) 連絡事項					
主な意見					
<b>【報告事項】</b> (1) 学校の様子 <学校施設を活用した学びのプラットフォームづくり>学校教育と社会教育との接点として、施設開放を考えていきたい。また部活動の地域連携・地域以降に関する推進計画があり、喫緊の課題。部活動の指導者について、教職員で回すのが難しく現状では拡充することができない。地域のニーズはどういうものか知る必要がある。 区立向陽中には、KSCC(向陽スポーツ文化クラブ)という団体があり、学校とは独立した組織。シニア世代に意外と需要がある。天沼中もテニスコートがあるので学校を主体とした大人向けテニスクラブができ、中学のテニス部の指導をしたり、チームに含まれて行くのも選択肢として考えられる。天沼中には茶室があるのに茶道部がない。授業との接点で検討しないといけないが、地域のお茶会をして、放課後生徒が参加するとか、音楽室では日中は授業、夜は解放するなど考えられる。井荻中は福田洋介さんが彩楽(すぎなみ彩楽ウインドシンフォニー)を立ち上げて練習している。天沼中生徒のニーズではダンス部、バドミントン部もニーズが高いが、顧問を考えると現状では部活動としては難しい。地域で人材がいたら、調整次第では活動場所を提供できる。杉並区の柔道会の会長は本天沼在住であるが、杉並区内に柔道部は一校もない。発案して動くのは学校か、支援本部か、地教推かということの検討も必要となる。天沼中は建物立て替えを1つの契機として、地域の思いを汲み取って、今後の施設のありかたを提言して行くことは必要と思っている。 <中学生の居場所づくり>児童館もその1つであろうが、実情としては学童クラブでかなり手一杯の様子。中学生が主体的に活動できる場を作りたい。 (質疑)文科省のキャリアパスポートを活用して、小学校から中学校、高校と学び、学んできたことの系統みたいなことを記録し、ある一定の学力が読めるような内容になって受け継がれているのか → 実際の活用は難しい面がある。小学校6年間の学びを1冊にいろんなものを詰め込んで、もらう側からしてみれば、資料がいっぱい来てる感じであり、それをどう使えるかは具体的な検討課題となっていると思われる。					

(意見交換)

<部活について>

・生徒の意識調査をして、体力づくり、豊かに活動する場づくりの第1歩を示す時期に来ている。話し合いの場をもち、知恵を出し合う。茶室は20年前校長の意向で作られ、かつては茶道部があった。せっかく茶室があるから地域の人に使ってもらえたらいいと思う。

・沓掛小でコーラスやって、登録団体してやっているが、そのような使用方法と違うものか  
→ それはあくまで自主的にやっている団体。施設開放として指定されていない。

・沓掛小は地域の吹奏楽団が学校を借りているので、楽器を教えてくれる。

・バスケ部が借りている。見てもらうとか、工夫によってできる。中に入らないと難しい。

・かつて、野球部とかあった。今はやりたい子はクラブへ入ってしまう。  
→ 今、サッカーは指導できる教員がいるが、異動したら後は保証できない。沓掛小と一緒にできるといいが、どうやって行くかは課題である。

・向陽は補助金が出ているか？  
→ 独自に会員(地域住民)から会費を集めている。安いけど、テニスは百人単位。毎年コート整備をKSCCのお金でやる。体育の授業や部活で指導してもらったりする。

・野球部があった時、外部の人が来ていた。学校との打合せはPTAが窓口で、わりとスムーズだった。今はPTAの会員は忙しい。地域に丸投げとなると、責任をもってやる人を見つけるのは難しい。

・吹奏楽部卒業生は地域の楽団に入っている人も多い。学校施設を開放すれば利用するのではないだろうか。  
→ このような地域と学校との共同運営・マネジメントは難しい面がある。  
→ 今後、一度、CSでこのテーマで話し合いの場を持つことをはじめ、保護者、支援本部など、意見交換の機会を持つことを検討していく。

(2) 広報誌と四者研修会等について

(報告) <メビウスの進捗状況と配布先等について> 今年度第1号メビウス完成。6月20日以降配布予定。予算は別途申請して進める。2号は9月から準備、12月発行で進める。

(質疑) 評価に関する記事はメビウスの3月頃のものとして刊行するのか

→ それは、予算的に厳しいので、学校印刷機で号外で出す。メビウスとアンケート調査とは別だとして

⇒ (校長) 保護者向けにはテトルという配信手段があり、子どももタブレットに入れられる。紙でも可能。

データにできる分にはデータで。ホームページ試験運用を開始している。今後、その方法は検討し、具体化していく。

(報告) <四者研修会> 7月19日15時から16時30分に天沼中視聴覚室で実施予定のチラシ完成。話だけではなく、PCを持参してもらい、その場で実際に生成AIに触れて体験してもらう。7月初旬で山本先生との打合せ。チラシ配布を進める。

(その他)

・CSのPRパンフは費用がかかるので、今回は見送りたい。

→ 単価が上がるのは割付、レイアウトなど全部やってもらっているからでもある。ロゴやタイトルの著作権を、現在依頼している印刷会社が所有していることもあり、今後、著作権や経費、刊行形態等について検討していく。

(3) その他

(報告) <教育委員会への「お願い」提出の趣旨について>

・天沼中学校の教育課程に予定されている教育活動を推進するための、外部講師とその経費確保、ICT技術支援員の補助・学習支援や教師事務支援の充実、教師間の簡便な情報共有システム、校庭の照明の整備・充実、雨漏り補修やトイレ改修などについて、再度、校長・副校長先生等と相談しながら、支援を教育委員会にお願いする文案を検討する。

【審議事項】

(1) 今年度「天中CS調査」の検討

日時 7月24日(水) 14:30～

会場 天沼中学校 会議室